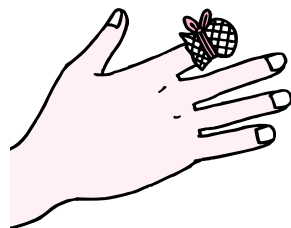


## 指や腕の切断

- ・切断後数時間で切断創の状態によっては再接着が可能  
→ 119番と応急手当、または手当後すぐに整形外科などへ

### 指

- ① 傷口に清潔なガーゼをあて、その上から包帯を強めに巻いて圧迫止血。
- ② 包帯の根元をひもで縛って固定。
- ③ 切断された指をガーゼでくるみビニール袋に密閉。氷水入りの袋や容器に入れて、傷病者とともに医療機関へ搬送。



※切断指を直接氷水に入れて冷やすのは禁物。細胞が破壊され再接着できなくなります。



### 腕

- ① 切断面に厚く重ねた包帯などを直接あてて圧迫止血。救助者ではできる限りビニール手袋などを装着して手当を行う（血液感染防止のため）。
- ② 切断された腕をビニール袋に密閉。氷を詰めたアイスボックスなどに入れて、傷病者とともに医療機関へ搬送。

※切断肢を直接氷水に入れて冷やすのは禁物。細胞が破壊され再接着できなくなります。



※再接着が可能な切断…刃物や機械などによる鋭利な切断（クリーンカット）は、動脈、静脈、腱、神経の確認が容易で、縫合手術による元の状態への修復が可能です。

※再接着が困難な切断…挫滅さめつ（砕けたり潰れている）状態や引き抜き切断では、血管や腱などの損傷が激しく、縫合手術は困難です。切断面が鋭的でも長時間経過している場合は、筋が壊死状態になっているため十分な血行再建は難しくなります。

※再接着が可能な時間の目安…切断後およそ8時間以内。応急手当に示した方法で切断指（肢）が約4℃の状態に保存されていることが条件です。